

1993年度朝日国際奨励金 Asahi Fellowship Program

アサヒ・フェローシップ（朝日国際奨励金）は1988年、朝日新聞東京本社創刊100周年を記念して創設され、その後、1992年5月に設立された（勸朝日新聞文化財団に引き継がれた、外国人を対象とする奨励金制度です。日本に関心を持ち、さらに研究を進めたいと願う有望な学者、ジャーナリスト、芸術家らを日本に1年間招き、活動、交流を通じて日本理解を深めてもらおうというものです。

この制度の積み重ねにより人と人との交流が深まり、国際協調、相互理解が促進されることを心から願います。

応募資格

- ・外国国籍の個人
- ・大卒、またはそれにふさわしい経験を持つ人。学術研究分野は、Ph.D取得者もしくはそれに相当する学識を持つ人を希望します。
- ・日本に関する研究、学習活動などを行おうとし、日本に滞在の必要がある人。本国でも同程度の活動が可能な人は受け付けません。
- ・日本に現在長期滞在中の人、および今後長期にわたり居住する見込みのある人は受け付けません。留学・研修などですでに来日の決定している人も受け付けません。
- ・日常生活に事欠かない程度の日本語を話せることが望まれます。
- ・特に年齢制限はありませんが、滞日活動終了後、本国においてその経験を生かし発展的活動ができる人、将来性を持つ人を希望します。

応募方法

- ・募集は毎年1回、1993年分は1992年12月1日から1993年2月28日まで行います。
- ・希望者は、所定の申請用紙で応募すること。申請用

紙は本フェローシップ事務局に郵便で請求するか、募集期間中は朝日新聞社の海外総・支局にも備えてあります。

- ・申請には必ず推薦書（所定の用紙を使用）を添えること。応募者の日本語能力、研究テーマに関する能力、テーマについての評価ができる人物（指導教官、上司など）に作成を依頼して下さい。
- ・申請書、推薦書など応募書類は一切返却しません。

選考と通知

- ・選考は朝日新聞社内の審査を経て、（勸朝日新聞文化財団の選考委員会が行います。
- ・選考結果は6月末までに朝日新聞紙上で発表するほか、応募者本人にも郵便で通知します。

内容

- ・3～4人を採用し、1年間（原則として毎年9月から）日本に招聘します。
- ・奨励金の総枠は2000万円、研究内容に応じて選考委員会が適切な額を決定します。
- ・来・離日時の往復航空券を支給します（エコノミークラス、本人のみ）。
- ・滞日中の海外旅行傷害保険料、所得税は（勸朝日新聞文化財団が負担します。
- ・来日中は、支給金で研究費、生活費をまかない、計画に基づいて研究・交流活動を行います。

応募書類請求、申請書郵送先

〒104-11 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞社文化企画局企画第二部内
アサヒ・フェローシップ事務局
電話 03-3545-0131 内54213
FAX 03-3543-3280